

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(134)、(167)」

2. 日時：令和5年2月3日（金）10時00分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、馬場係員、田島主任技術研究調査官※

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員
中川原子力土建部長 他8名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年1月25日に受領済み>>

- ・浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト
- ・浜岡原子力発電所 震源を特定せず策定する地震動について

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。規制庁鈴木です。それでは時間になりましたので浜岡原子力発電所震源を特定せず策定する地震動について、とに回目のヒアリングを開始しますそれでは、事業者の方から資料の説明をお願いします。
0:00:19	はい。中部電力天野でございます。昨年 12 月 21 日に 1 回目のヒアリング、いただきました震源を特定せず策定する地震動につきまして、
0:00:29	資料、不明瞭なところを修正して参りましたので、ご説明さしていただきたいと思えます。30 分程度になると思えます。よろしくお願ひいたします。
0:00:50	中部電力の石川です。よろしくお願ひいたします。
0:00:53	今回特定せず策定する地震動に関する資料としては本編一部のみ用意しております。
0:01:00	前回ヒアリングでは敷地における地盤増幅特性に関する補足説明資料を用意しておりましたけども、前回のヒアリングを踏まえて取り止めといたしました。
0:01:10	それでは修正点を中心に説明していきます。
0:01:14	まず、一章の概要における修正点です。
0:01:19	3 ページから 3 ページからになりますけども、資料の構成につきましては 4 ページが全体の検討概要、5 ページ 6 ページが全国共通に考慮すべき地震動の概要、7 ページからが全国共通に考慮すべき地震動の、
0:01:35	増幅地震動評価の概要で、9 ページ 10 ページの敷地における地盤増幅特性についてまとめた資料は、もともと 4 ページの検討概要の後ろに付けておりましたけども主に増幅ありの評価に関する内容の資料であることから、
0:01:50	今回増幅ありの評価の概要の資料の後ろに移動をしました。
0:01:55	そのあと 11 ページ、12 ページで地域性を考慮する地震動の概要は続きまして 13 ページが最終的な評価結果、14 ページ以降が、当初申請からの変更点となります。
0:02:09	A 社では主な修正としまして増幅あり間増加の評価に関する記載と、地域性を考慮する地震動の概要のページを修正しております。
0:02:20	まず増加割の評価に関する記載については 8 ページになります。
0:02:27	こちらは、7 ページで記載しました特定せずの評価と、敷地における地盤増幅特性の記載を踏まえて、増幅の評価をどうするかということに記載しております、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:38	前回ヒアリングを踏まえて修正し、特定指定との関係についても記載をするようにしました。
0:02:44	修正点を含めて全体説明します。
0:02:48	前日の7ページの特定せずの評価と、敷地の地盤増幅特性に関する分析結果との関係を検討し、以下の観点から、
0:02:56	標準応答スペクトル等2004年留萌地震の地震動の評価では、増幅の評価は行わず、通常の評価で用いる保守的な1次元地下構造モデル、SGFモデルを用いた評価のみを行うこととしたとして、
0:03:10	四つのポチで記載をしております。
0:03:13	一つ目のポチですが地震動の顕著な増幅は、これまで説明してきている通り、N30から72という特定の地震は到来方向を同方向の地震における、
0:03:23	号炉周辺の観測点を除き認められないことを確認しています。
0:03:28	二つ目のポチ、このように顕著な増幅は、その影響が震源断層のうち、増幅方向に当たる範囲に限られることから、地震動評価の範囲には震源断層の設定が必要であり、
0:03:40	震源断層を設定せずに行う特定せずの評価への反映は、地震動評価の
0:03:46	考え方が合わず、対して評価対象外と考えられます。
0:03:51	なお震源断層を設定しないことから、増幅方向に当たる範囲に関係なく、震源断層から到来するすべての地震方を顕著に増幅させる評価方法が考えられますが、
0:04:01	そのような方法は、観測記録等の分析結果に対し、過度に保守的な評価方法となるため採用しません。
0:04:09	また三つ目のポチは前回から変わりませんが、検知の増幅は、その増幅要因につきまして、下の赤の大波線で示すようにイソダテ速度層に斜め入射する際のフォーカシング現象と分析するとともに、
0:04:23	増幅方向でも地震入射角が鉛直に近づく、敷地近傍の地震ほど顕著な増幅が見られない傾向があることを確認していることから、
0:04:32	震源近傍の観測記録に基づく特定せずの評価において対象とする、敷地近傍の地震では、S当て速度層の影響による地震動の顕著な増幅は生じないと考えられます。
0:04:45	四つ目のポチで特定してその評価について記載をしておりますが、なおということで特定しての評価では、震源断層を設定して震源断層のう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ち、増幅方向に当たる範囲に応じて増幅だ震源断層の一部からの地震は2、
0:04:58	増幅係数を乗じる方法により、地震動の顕著な増幅の影響を考慮しています。
0:05:04	また震源がそのすべてではなく、一部からの地震はに増幅係数を乗じる評価を行うにあたり、保守的な評価を行う手段として、半径敷地から半径 10 キロ程度以内の敷地近傍も含めて増幅係数を乗じる評価を行っております。
0:05:20	以上のことから、増加の評価を行わず、通常の S G F モデルを用いた評価のみを行うとしたしております。
0:05:30	続いて地域性を考慮する地震動の概要の修正につきましては、ページ飛んで 11 ページ 12 ページになります。
0:05:41	こちら前は、2008 年岩手宮城内陸地震 2000 年鳥取県西部地震それぞれについて、各項目の対比を示しまして、各項目で地域差が認められるため、観測記録の収集対象外との説明をしておりましたけども、
0:05:56	今回は審査ガイドや先行サイトの評価書等を参考に、文書形式で記載した資料に修正をいたしました。
0:06:04	なお表形式の比較につきましては詳細な説明をしている参照のを最後に掲載はしております。
0:06:11	まず、11 ページ上段の黄色のハッチングの箱書きが評価方針となります。
0:06:17	地域性を考慮する地震動は、上から 3 行目の中ほどですけれども、地域によって活断層の成熟度が異なることを上部に南岸や火山岩、堆積層が厚く分布する場合や、
0:06:29	実際の違い等の地域性があることが考えられることを踏まえ、
0:06:33	上部にマンガンや火山岩、堆積層が厚く分布する地域で発生した地震とされる、2008 年岩手宮城内陸地震、
0:06:42	それと、活断層の密度が少なく活動度が低いと考えられる地域で発生した地震とされる 2000 年鳥取県西部地震を検討対象とし、
0:06:51	震源域の特徴を整理した上で、震源域と浜岡の敷地及び敷地周辺について特徴を比較し、
0:06:59	特徴が類似する場合には、観測記録の収集対象とするというのが評価方針となります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:05	その下に 2008 年岩手宮城内陸地震の震源域の特徴と、敷地及び敷地周辺特徴をそれぞれ書き下しております。
0:07:15	読み上げますけれども、2008 年岩手宮城内陸地震については、震源域は、東北日本弧内隊、
0:07:22	J R 瀬戸 R による基盤地質分類による地、地帯構造区分の南部北上対垣見ほかによる地震地体構造区分の東北日本弧内体に位置し、
0:07:32	第 3 系前震等から、新第 3 系鮮新統の火山岩及び堆積岩が厚く分布するとともに、
0:07:39	第 4 紀火山噴出物に覆われ、大規模地すべり地形が多く見られる地形です。地域です。
0:07:45	また、震源域周辺には活断層は示されていませんが、北方や南方には、東北日本弧内隊の現在の東西圧縮応力場に調和的な南北走向の逆断層が分布しており、
0:07:58	火山フロントに近接し、周囲には第 4 紀火山が分布し、大勢多数のカルデラが認められる地域です。
0:08:06	一方浜岡の敷地及び敷地周辺は、
0:08:10	西南日本校を買いたい
0:08:14	パルセータによる地体構造区分の構台さんから新第三期の付加体、筧ほかによる地震地体構造区分の請願日本語が板井に位置し、
0:08:22	フィリピンからプレートの沈み込みにより付加体が発達し、中生代から新生代新陳第 3、
0:08:29	経営鮮新統の堆積岩類が厚く分布しますが、
0:08:33	破断類や第 4 紀火山噴出物、大規模の地すべり地形を見、分布しておらず、
0:08:39	元基準となる第 4 紀の河成檀海成段丘面及び段丘堆積物が分布している地域です。
0:08:46	また敷地周辺には、開業主として付加体地域に形成されるトラフ軸に沿う褶曲及び断層が多数分布し、火山フロントから離れており、敷地周辺には第 4 紀火山はなく、カルデラも認められない地域です。
0:09:02	以上から、太字矢印のところに記載している通り、この地震の震源域は、浜岡の敷地及び敷地周辺とは地質・地質構造活断層の分布状況や、火山フロントの位置関係に違いが認められ、
0:09:15	地質学的背景等が異なることから、観測記録の収集対象外としたとっております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:23	同様に 12 ページの上の箱書きには、2000 年鳥取県西部地震について記載をしております。こちらを読み上げますけども、
0:09:31	2000 年鳥取県西部地震については震源域は西南日本弧内耐出願地質分類による地体構造区分の平尾北井、垣見ほかによる地震地体構造区分の中国山地瀬戸内海 1、
0:09:45	主に白亜から第三期の花崗岩及び新第三期中新世に貫入した安山岩から玄武岩質の眼力が頻繁に分布し、
0:09:54	断層変位基準としての段丘面を構成する第 4 系は分布しておらず、明瞭な断層変位記事が少ないとされている地域です。
0:10:03	た新駅周辺は活断層の発達過程としては初期ないし未成熟な段階にあると、ある地域とされており、活断層の密度は低く、横ずれ断層が幾つか分布し、火山フロントに近接し、中には第 4 紀火山が分布している地域です。
0:10:20	一方この敷地及び敷地周辺につきましては先ほどいわゆる宮城のところで説明したものと同様となっております、以上から、先ほど同様に、地質学的背景等が異なることから、観測記録の収集対象外とをいたしております。
0:10:36	そしてその下のピンクのハッチングの箇所が、地域性を考慮する地震動の全体の結論となっております、
0:10:43	地域性を考慮する地震動としては検討対象とした二つの地震の震源域と浜岡の敷地及び敷地周辺について、特徴を比較した結果、実学的背景等が異なることから、観測記録の収集対象外としたと結論づけております。
0:11:00	大きな修正は以上でそれ以外の文言の修正追加についてですけども、すみませんページ戻っていただきまして、4 ページ。
0:11:08	です。
0:11:14	こちら 4 ページの検討概要のうち中段の全国共通に考慮すべき地震動のところの記載で、前回の資料では、敷地の解放基盤表面との地盤物性の増による影響を考慮した地震動と、
0:11:27	いう記載をしておりましたけども、
0:11:29	ガイド等の記載を再度確認いたしまして、敷地の地盤物性に応じて、解放基盤表面までの地震はの伝播特性を反映した地震動という記載に修正をいたしました。
0:11:40	こちらは本資料で該当する箇所を同様に修正しております。
0:11:45	続いて 7 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:53	こちら中ほどに敷地における地盤増幅特性の説明しておりますポイントとなる敷地近傍のというところの記載につきまして、前回ヒアリングを踏まえまして書くわけで、敷地から半径 10 キロ程度以内であることを追求しております。
0:12:09	こちらは特定してのまとめ資料で、敷地近傍についてそのような記載をしておりますので、それと同じ記載を追記しております、
0:12:17	こちら本資料で該当する箇所を同様に修正しております。
0:12:23	すいませんまた飛んでいただいて 15 ページお願いします。
0:12:32	15 ページでは評価に用いる地下構造モデルについて最適化モデルから S G F モデルに変えるという説明をしております、
0:12:41	前回のヒアリングを踏まえまして、もともと括弧書きで記載しておりました S G F モデルが最適化モデルの保守的という記載を、ここでは削除するようにしております。
0:12:53	一章につきましては以上です。続いて、17 ページから、
0:13:02	二章の全国共通に考慮すべき地震動の修正点について説明をしていきます。
0:13:07	まず 2-1 の敷地における地盤増幅特性と地震動評価への反映方法における修正点です。
0:13:15	基本的な構成が変わっておらず、ここでは主に敷地近傍の地震に関する追加分析の資料を追加しました。
0:13:23	追加分析の資料については 35 ページから、
0:13:30	35 ページからの、敷地における地盤増幅特性に関する詳細資料の中に追加をしております。
0:13:38	資料としては前回と同様に 35 ページに浜岡の観測、地震観測体制 3637 ページに、地震は到来方向ごとの分析、
0:13:48	38 ページに敷地近傍についての分析をお示しております、その続きとして、39 ページに、敷地近傍で発生した地震による地盤増幅特性の追加分析についての資料を追加しました。
0:14:02	追加分析としては敷地から半径 10 キロ程度以内の敷地近傍で発生した地震を対象に、最大加速度比と S I 値比を求めて分析をしました。
0:14:12	対象地震につきましては敷地近傍で発生し、記録替えられている地震を敷地から 360 度全方位で確認したところ、
0:14:20	39 ページ右上に示す、概ね増幅方向に、に位置する地震のみ観測記録替えられていたという状況です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:29	これらの地震の中には、この後の資料で登場する標準応答スペクトルに基づく地震動の評価の実観測記録の一層を用いる方法による模擬派の作成で使用する地震も含まれております。
0:14:43	分析結果につきましては、36 ページに示した既往の分析結果と横並びで示しておりまして、凡例として塗りつぶしている方が今回の追加分追加分析の結果となります。
0:14:55	結論はピンクの箱書きに記載している通りで、敷地近傍で発生した地震の観測記録の分析によると、
0:15:03	前日の分析結果と同様、増幅方向の地震はデモを敷地近傍で、発生した地震では、検知の増幅が見られない傾向があることを確認したというのが結論です。
0:15:15	それ以外の修正点としてまず 46 ページですか。
0:15:25	こちらは 3 次元地下構造モデルを用いた解析の結果を示しておりますが、ピンクの箱書きの記載が、前回の資料では、地震観測記録の分析も含めた記載となっておりますので、
0:15:37	解析結果に対する結論のみ記載する形に修正いたしました。
0:15:43	また一章の概要で説明した増幅ありの消化に関する修正につきまして、
0:15:48	27 ページに示す地震動評価の方針の概要であったり、51 ページに示す特定せずの評価への反映方法に、その一章の修正を反映しております。
0:16:06	続きまして 52 ページから、
0:16:10	2-2 の標準応答スペクトルに基づく地震動における修正について説明をしていきます。
0:16:18	ここでは主に実観測記録の位相を用いた方法に関する説明箇所を修正しております。
0:16:25	ページ飛んでいただきまして 62 ページをお願いします。
0:16:35	62 ページでは、模擬地震はの作成の複数の方法による検討につきまして、箱書きで実観測記録の位相として用いる観測記録の選定について記載をしておりまして、
0:16:46	前回は敷地から最も近い位置で発生し、かつ最も大きい地震規模の大地震の記録を選定した旨記載しておりましたが、
0:16:55	最大加速度につきましても、選定した地震の記録が一番大きいことを確認しておりますので、
0:17:00	箱書き、下から 3 行目の最後のところで、最大加速度を海外加速度が最も大きくという記載を追記し、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:09	またその下の表に、それぞれの観測記録の最大加速度を追記しております。
0:17:18	飛んで 65 ページから、
0:17:21	一応乱数の位相を用いた方法と、実観測記録の位相を用いた方法による地震はの比較を説明しております、
0:17:29	65 ページで応答スペクトルの比較、66 ページで、時刻歴は形の比較を行っておりますが、
0:17:36	66 ページの次、時刻歴 100 円の比較で、最大加速度の比較に関する記載を、箱書きのほうに追記しております。
0:17:45	具体的には不破一つ目の丸といたしまして、解放基盤表面における最大加速度は一様乱数の位相を用いた方法と、実観測記録の位相を用いた方法で大きく変わらないという記載を対、
0:17:58	交わしました。
0:18:00	またこの比較に関するページで、箱書きや表の中の文章の記載方法を整合するように微修正しております。
0:18:12	続く 69 ページからの 2-3 の 2004 年留萌地震の部分につきましては、これまで説明した修正以外の修正は基本的にありません。
0:18:22	以上が二章の修正点についてです。
0:18:27	ページ飛んでいただいて 111 ページお願いします。
0:18:40	111 ページから 3 章の地域性を考慮する地震動の修正点について説明していきます。
0:18:47	112 ページが全体の概要で 113 ページから 3-1 の 2008 年岩手宮城内陸地震についての資料となります。
0:18:57	この 3-1 につきまして大きな構成としては前回ヒアリングから変わらず、震源域の特徴を調査して一旦まとめまして、その後震源域と敷地及び周辺の特徴を比較検討するという流れです。
0:19:11	変更点につきましてまず 114 ページから震源域の特徴のところは、基本的に変更ありませんけども、
0:19:18	116 ページに示すシームレス地質図の凡例におきまして、2008 年岩手宮城内陸地震の震源域に特徴的な火山岩類を、赤の四角で囲って見やすくしております。
0:19:31	ページ飛んで 122 ページ、お願いします。
0:19:41	ここではここまでの震源域の特徴を一旦まとめておりますが、前回のヒアリングを踏まえて、上段の新駅の特徴を整理した箱書きの下方に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:51	新駅の特徴まとめという箱書きを追加しまして、
0:19:55	この地震では事前に活断層が確認されていなかったことに関する特徴を整理しました。
0:20:02	具体的には、記載しておりますけども震源域周辺は高財産形成新統から新在線、第3系鮮新統の火山及び堆積岩が厚く分布するとともに、
0:20:13	第4紀火山噴出物に覆われ、大規模地すべり地形が多く見られる事例であり、
0:20:19	また、火山フロントに近接し、周囲には第4紀火山が分布し、多数のカルデラが認められる地域であるというふうに整理しております。
0:20:28	またその下、水色のハッチングで示す移行の比較検討の項目につきまして、
0:20:34	今回は地質・地質構造という項目としておりましたけども、地質の分布、活断層の分布の二つで比較をしておりますので、記載を適正化し、
0:20:44	また、地形の特徴を、地質の分布の後に入れるように順番を修正しております。
0:20:52	比較につきましては123ページからがこの項目の比較になります。
0:20:58	123ページは変更なく124ページの地震地体構造区分の比較の中で、右下の表のうち、敷地周辺の主な地震について、
0:21:11	箱書きにある、これらを、これらは敷地から離れており周辺にはM7クラスの地震の報告がないということ、表の中にも追記するようにしております。
0:21:23	125ページ、126ページは変更ありません。
0:21:28	127ページは地質分布に関する地すべり地形の比較検討です。こちらは前回資料では、地すべり地形は地形の特徴として、火山のスライドの方に、後に入れておりましたが、
0:21:41	地すべりが多いことは地質分布に関連することのため、タイトル修正の上、地質分布のスライドの一つとして説明位置を見直しました。
0:21:51	128ページは地形の特徴としての第4期の分布、地形面の発達状況の比較検討のスライドです。
0:21:59	こちら2000年鳥取県西部地震と項目を合わせるために追加しております、
0:22:05	2008年岩手宮城内陸地震の震源域は内陸部に1海成段丘が分布しませんが、敷地周辺には海成段丘が分布するとしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:15	なお前半の特徴の次のところで説明しております河成段丘の肥厚などから、伏在断層が示唆される等の知見に関しても言及をしております。
0:22:26	129 ページは活断層の分布の比較です。
0:22:30	前回のヒアリングを踏まえまして、敷地周辺の活断層分布としては、当社の調査結果を示すこととし、主に海域において付加体地域に形成されるトラフ軸に沿う断層や褶曲が多数分布していることを説明するように資料を修正しました。
0:22:49	130 ページは修正変更ありません。
0:22:54	131 ページにこれまでの比較検討項目を表で整理をしております、一章で隠した内容と整合するように表を作成しております。
0:23:06	前回からの変更点としまして表の見やすさの観点から比較検討結果について、先行サイトの事例を参考に、
0:23:14	類似性があるものは赤色の丸、類似性が低いものを、が一部あるものは、水色の三角。
0:23:23	L 字性がないものは青色のバツとしております。あわせてその根拠となる各項目の内容についても、
0:23:30	類似点を赤字、そういう点を青で示すように修正をしました。
0:23:37	表の中の記載内容につきまして基盤地質分類による地体構造区分や、地震地体構造区分は、構造区分がそもそも異なるとして、その部分に色づけをし、
0:23:48	各構造区分の細かい説明は括弧書きとするように記載を修正しました。
0:23:53	また比較項目のうち、伊勢ビデオ地すべりを地形から地質分布に含め、新たに地形面の特徴を追加しました。
0:24:02	その結果地質分布のみ、新第 3 系の堆積岩類が厚く分布するとしている点で類似しているため三角として、それ以外の項目はいずれもバツとしております。
0:24:14	結論につきましては 132 ページにまとめをするのスライドをつける形に修正しました。
0:24:21	こちら中の記載につきましては一章の概要で示したものと同様となっております。
0:24:29	続いて 134 ページから 3-2 の 2000 年鳥取県西部地震の修正点についてです。
0:24:37	大きな構成としては、岩手宮城と同様で変更がありません。
0:24:43	ページ飛んでいただいて 141 ページお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:53	こちら先ほど同様に、これまでの新駅の特徴を整理した上で、新駅の特徴まとめの箱書きを追加しまして、
0:25:03	本地震では事前に活断層が確認されていなかったことに関する特徴を整理しました。
0:25:09	具体的には、震源域周辺は主に加来からこう第三期の花崗岩及び新第3系中新世に貫入した。
0:25:17	安山岩から玄武岩質の眼力が頻りに分布し、
0:25:21	断層変位基準としての段丘面を構成する第4系は分布しておらず、
0:25:26	明瞭な断層品基準が少ないとされている地域であると。
0:25:30	また震源周辺は活断層の発達過程としては、初期ないし未成熟な段階にある地域とされており、
0:25:37	活断層の密度は低く、横ずれ断層が幾つか分布している地域であるというふうに整理をしました。
0:25:46	142ページからがこの比較となっております。
0:25:50	142ページは変更なく、143ページは、先ほど同様に表の中に注意書きを追記しております。
0:26:00	144ページは変更なし、J A 145ページの地すべり地形の比較につきましては、こちら前回資料では、2000年鳥取県西部地震について、特に地すべりに関する知見はなかったため、このような面、比較サイドはつけておりませんでした。
0:26:17	岩手宮城と比較項目を整合させるために今回追加しました。
0:26:22	震源域周辺、敷地周辺ともに大規模な地すべりは見られません。
0:26:29	146ページのは変更なく、社協17ページの活断層の分布につきましては、こちら先ほど同様に、敷地周辺の活断層分布を当社の調査結果に修正いたしました。
0:26:43	148については変更なしで、149ページに、これまでの比較検討結果の表を先ほどと同様に修正して示しております。
0:26:56	表では地すべり分布を地質分布にいつ行き、しました。
0:27:01	比較検討結果としては地質分布のうち、大規模な地すべり地形が見られないことのみ類似しているため、地質分布を三角とし、それ以外の項目はいずれもバツとしております。
0:27:14	150ページに、一章でのまとめを規制、記載しております。
0:27:24	152ページ以降はこれまで説明した部分、文言や文言の修正や削除を行っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:32	また 161 ページに、当初申請時の標準応答スペクトルに基づく地震動の評価で用いていた地下構造モデルを示しておりますが、
0:27:43	そのあと 2、前回資料では最後に掲載をしておりましたモデルの推定の資料を応用して移動してきております。
0:27:51	路線駆け足になりましたが説明は以上です。
0:27:57	はい、説明ありがとうございました。
0:28:01	もですね一応前回 1 回ヒアリングで通しでは確認してるので、
0:28:07	ちょっと冒頭の概要の辺からですかね、ちょっと何点か聞いていこうかなと思います。
0:28:14	へえ。
0:28:15	あとまず 1 点目は本当にしょうもないタニ表現ぶりの話なんですけど、5 ページ目、どこでもいいんで 5 ページ目かな。
0:28:23	これ二つ目の丸の 2 行目のところで、何か資料上ですね。
0:28:28	何か保守的になって枕がついたりつかなくなったりしているページがいっぱいあるので、単に気になっただけなんですけど。
0:28:35	何か特定市の方では、何か 1 次元地下構造モデルのまえがきに、
0:28:41	保守的な次元地下構造モデルって多分使ってなくて、
0:28:45	今回特定せずの資料になってくるとこういうふうに保守的になってのがついたり、6 ページ目の一つ目の丸の留萌の方ですねこっちには何かつかなくなったり後にまた出てきたりとかって、
0:28:57	別に何かこの保守的ながつくことによって、これで何か特異な増幅を考慮するかしないかの、
0:29:06	根拠に使ってるわけでもないんですよ。なんかあんまりこう、必要がないところで、何か保守的ってつけたり付けなかったりってする必要はないんじゃないかなという。
0:29:16	無駄な議論を惹起しないかということで、ただこれ表現ぶりの話ですね。
0:29:22	この辺って何か、特につけてる意味が意味というか意図ってあるんですけど。
0:29:29	中部電力の岩瀬ですコメントありがとうございます。保守的にということに関しては増幅の分析、属性の分析のところで、
0:29:41	観測記録とかを見るとどうしても一定のばらつきっていうものは分析上、取れない中で出てくるものですから、プレート間地震の特定支店の方では、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:55	当然保守的ってことは説明した上で、地下構造モデルの設定という意味のところ、最後に、あまり保守的にという形はつけておりませんが、
0:30:05	今回特定せずのところ、また乾燥記録の分析結果が、
0:30:12	出ていくということで、一定の保守性はちゃんと考えてあるよということ、申し添えたくて入れたものですが、今鈴木さんにご指摘されたように、
0:30:23	これをもって増幅をやらなくていいということ、特に強く主張したいということではありませんので、
0:30:29	誤解がないように、この点についてちょっと修正させていただきたいと思います。以上です。
0:30:37	統一さえしてくれればいいので、どちらかにしてくださいってことで、
0:30:44	承知しました。
0:30:47	で、次、7ページちょっとどこでもいいか7ページ目でいいのですが、
0:30:58	これナンバー7これ345ですね、7ページ目のところ
0:31:04	右から2は下の右、四つ並んでますよね右から2番目の図があって、
0:31:11	このA断面の範囲が左にあるんですけど、
0:31:15	これ左の特定深度すいませんなかったんであれなんで確認ですけど'a'残って、一応この点線の
0:31:26	枠内にあるもの、この
0:31:30	なんていうか、ひし形、ひし形、大きい方が多い方全体ではなくてこの位置を点線の中のものだけ抜き出したのが隣でいいんですよこれ。
0:31:41	30N30からN70Eまでの、この全範囲のものではなくて一応この長方形の中のものをとってっていう理解でいいですか。
0:31:52	中部電力の石川です。
0:31:55	おっしゃる通りでそのN30から70のすべてのものではなくて、基本的にはこの点線の中ものを抽出しています。
0:32:05	以上です。
0:32:06	はい、ありがとうございます。で、上で、確か何ページだったかな、今回追加で、
0:32:13	何か敷地近傍の、
0:32:16	ていうのはどこだったかな、追加でって言ったのは、何か39ページの方で追加分析しましたとかっていうのも出てきてるんですけど、こういう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:26	エース、例えば7ページとか他にも同じこの図で9ページも出てきたりもするんですけど、
0:32:33	ここの中には入ってはないのかな。
0:32:37	これはあくまで特定しての時に、示したのと同じもので、
0:32:42	追加でって言ってるのは、もう入ってないんですかね、これ。
0:32:48	中部電力の石川です。はい鈴木さんおっしゃる通りで、7ページの方につきましては特定せずの段階での資料になってまして、今回39ページにつきましては新たに敷地近傍でとれたものを、
0:33:01	追加で分析したということで、こちらには、
0:33:04	いうものになります。
0:33:06	以上です。
0:33:10	はい、わかりました。
0:33:18	あとすいません8ページ目。
0:33:21	これもう、8ページ目のすいませんね、黒ポツが四つ並んでいて、
0:33:27	二つ目のポツの後半の、
0:33:30	なお書きですかね最後。
0:33:33	こういう方法が考えられるんだけど過度に保守的な評価方法になって言ってる。
0:33:40	関係なく、
0:33:42	禁煙後、
0:33:44	震源断層から到来する上で融資すべての地震は保健所に上空増幅させる方法。
0:33:51	評価方法がって言ってるのはこれあれですか、特定しての時には、断層のその全部面積ではなくて、一応その増幅方向の範囲内に入る範囲だけ。
0:34:01	そこを増幅させてるんだけど、当然応答スペクトル法も、そこで断層モデルの手法で出た、その比率を応答スペクトル法にも掛け掛け算している能勢上乘せしてるんだけど、
0:34:15	特定せずの場合は、標準応答スペクトルの場合はそういうやり方があまり思い浮かばないので、いや、もしその全面積、
0:34:26	ですよね震源前全体にかけてが脳性する形になってしまうんで、それについて過度の保守的って言ってるんですかね。もちろんその増幅方向だったら範囲に関係なく、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:36	一律に増幅するとみなすっていう部分もちろんかかる、過度に保守的っていうおっしゃりたいんだと思うんですけど。
0:34:44	ここは、その手法として、断層モデルを用いた地震動評価みたいなやり方が、
0:34:51	できないっていうそういうことですか。
0:34:55	中部電力の岩瀬です。今鈴木さんにおっしゃっていただいたこと、まさにその通りでして、断層モデル法の場合はグリーン関数ごとに分解して計算できるということで、グリーン関数で分解した。
0:35:09	要素ごとに、増幅をかけるかかけないかっていうことが、詳細にできるものですから、その断層面を置いてあるということ、を踏まえつつ、
0:35:20	胴部到来方向に該当する部分範囲を検討してということができたんですけども、特定せずは、そもそも面が置いてないということと面が置いてないがゆえに当然要素ごとに分解することもできないもんですから、
0:35:35	実際には考え方として、前、もし震源断層が何か特定せずといっても断層面が存在しないわけじゃありませんので、
0:35:45	実際の地震の断層面からの葛生波が集まって最終的に地震動になるというところの波が全部増幅したと思って、実際には地震、敷地の地震と全体に year という形で、
0:35:58	増幅特性を、顕著な増幅をかけるというような極端な評価なら、できるんですけども、特定してやってるような、到来方向を踏まえた評価はできないという趣旨でここは書かさせていただいております。以上です。
0:36:17	はい、ありがとうございます。
0:36:24	冒頭の概要と言っても結構長いんですけど、
0:36:29	冒頭の概要部分では、
0:36:32	雰囲気になっ
0:36:34	た点は、以上。
0:36:37	っすね。私からは、
0:36:40	田坂後Cで言うと、これは、
0:36:44	そっか連担的にこのNo. 7基準って出てくるんですけど、
0:36:49	うーん。毎回書くのも冗長であるんですけど、多分、3号でしたか4号でしたっけどどちらか3号4号の間ぐらいですかね。
0:36:58	多分なんかNo. 7基準って特定しての方見ていくと書いてあるのかもしれないんですけど、特定せずだと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:06	後、
0:37:07	どこかで1ページぐらい多分ナンバー1から、
0:37:11	13までがどこに該当するかというのは後ろに図が出てきたような気がするんですけど、裸で冒頭で何ぼからずっとNo. 7基準と言われると、
0:37:22	あれどこどことの基準でやってるんだっけというのが、パッと入ってこなかったんですけど、ナンバーなんて3号でしたっけ。
0:37:29	中部電力の石川です。すいません。配当につきましては37ページに、
0:37:34	配置を記載しておりましてナンバー7は、4号の南側、4オオミナミあたりというところに位置しております。そこを基準にして書いてるということで、
0:37:46	確かにすいません7ページとかにそうなぜ7何名なんだってことが書いてないので、
0:37:51	これについてはちょっと紐付けなり補足をしたいと思います。
0:37:54	はい。4号3号なり4号なりですね、と午後の比較ですっていう、それぐらいで、
0:38:01	結構かと思えますけど、ちょっと毎回No. 7を使うのか置き換えるとそれはそれで特定しての資料との違いで手間なのかというのは、考えていただいて、
0:38:11	どこ基準ってその基準はどこだっていうのがわかるようにだけしていただければ結構。
0:38:24	安保すいません他冒頭の概要で何か、
0:38:28	なければ、ちょっと次のパートとかで移りますけど、
0:38:33	わかりますか。
0:38:45	今、規制庁サグチですけども、
0:38:47	幾つか確認をさせていただきたいんですけど。
0:38:52	まず7ページ8ページのところで7ページなんですけど、
0:39:00	どこだろう。
0:39:03	あ、えっとですね7ページの、
0:39:07	丸が四角の箱も丸がみ四つあって一番最後の四つのところなんですけど最後に、
0:39:15	増幅方向でも地震はの入射角鉛直に近づく敷地近傍。
0:39:21	敷地から半径10キロ程度以内。
0:39:24	の地震ほど顕著な増幅が見られない傾向にあるっていうところなんですけど、これは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:31	あくまでも傾向なのか、全くもう見られなくなるのか。
0:39:36	ちょうどそのあたりまず、どちらを考えているのかっていうのと、
0:39:42	この半径 10 キロっていうのは、どれを見たらいいのかでした下の図の、
0:39:49	四つありますけど、そのうちのどれを見ればいいのかっていうのを教えてください。
0:40:08	中部電力の岩瀬です。
0:40:11	隣の A A 断面図、
0:40:16	よろしいですかね。
0:40:18	増幅が見られないと言ってるのは、
0:40:21	地震としては 10 キロの線が入っておりますので、この 10 キロの敷地から 10 キロの線の範囲内の中、どちらかというとなもの、下から下の側から来る、
0:40:36	スラブ内地震と思われる地震。
0:40:40	が、一番真下から来るということで、敷地近傍の地震としてはこれらで顕著な増幅がないということを確認しているという意味で 10 キロと書いております。
0:40:52	顕著な増幅が見られない傾向があるという書き方は、右側のシミュレーションとかで次第に基本的にはだんだん増幅。
0:41:04	現状の増幅が、もうちょっと言うと増幅が見られる傾向が減っていくということで、そちらを中心に書いておりますが、我々としては顕著な増幅と、
0:41:17	いう形では、これらの記録については、見られていないというふうに考えております。以上です。
0:41:28	はい規制庁方サグチです。今ご説明あったのはこの下の四つがある中の右から二つ目の断面についてというところなんですけど、
0:41:38	これって少なくともこのプロットは A 断面、
0:41:42	の、だからその左かな、左の図のこの範囲でのものしか、
0:41:48	多分プロットをされていなくて、
0:41:51	おそらくその 10 キロっていうのが、上に数字がこうある。
0:41:57	のがこれが敷地に対しての脅威なので、10 キロより近いところで見ると、
0:42:04	緑色、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:06	5 ぐらいがマックスになるのかな、そうすると 1.5 倍ぐらいになるので、
0:42:11	何ていうんですかね、確かにその
0:42:15	赤の差 3 倍とか、というようなそういった超えるほど増幅はされていないと。
0:42:23	ということかなと今理解したんですけど、一方でさらに一番右の図を見ると、
0:42:30	これあくまでも入射角で、
0:42:32	確かに自由度、重度のところはちょっと微妙ですけど、
0:42:39	1 個左ですかね、入射角が、
0:42:42	これは 7 度とか 8 度ぐらいなんですかね、それぐらい、要は数度、数度の。
0:42:48	入射角であれば、少なくとも今の
0:42:53	観測記録、
0:42:54	からは、
0:42:56	全く増幅はされていないと。
0:42:59	いうことはわかるんですけど、だから結局、
0:43:03	あんまりその、
0:43:05	半径 10 キロとかっていう、
0:43:09	数字、
0:43:10	で見ちゃうと、
0:43:12	それはあくまでもこの範囲の中でっていう話かもしれないんですけど、左から二つ目のこの、
0:43:19	土地地図のところで見ると、多分 10 キロ、
0:43:24	本当に半径の 10 キロの円を書くと、
0:43:27	その中に、
0:43:29	何か黄色だったりちょっとオレンジに近いような色の文言、
0:43:34	結構あって、
0:43:36	そう、そうするとなんかあんまり 10 キロに、
0:43:39	がどうかこうとかっていうよりも、
0:43:42	入射角が、
0:43:43	小さい。
0:43:44	ていうだけなんじゃないのかなとか思ったんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:48	そのあたりの関係、要はその確実に半径何キロ以内のものは増加しないのか、それとも、いや、逆に言うと、
0:43:58	判定 10 キロより、
0:44:00	多少別にと遠くてもですよ。
0:44:02	入射角が大きくなるような地震だったら、それは多分増幅するのかなと思うんですけど。
0:44:09	ごめんなさい逆か 10 キロより近くても、入射角が、
0:44:14	大きくて、例えば 10 度を超えるような入射角。
0:44:19	の地震が、
0:44:21	あればそれは増幅される傾向にあるのか。
0:44:24	その辺りの関係。
0:44:26	もうなんか、そういう傾向がありますよぐらいだったらわかるんですけど。
0:44:31	もう絶対ないってということが言い切れるかどうかという話ですね、そこをちょっとどう考えてるか教えてください。
0:44:41	はい。中部電力の岩瀬です。増幅特性のこの分析の段階の順序を追って話す形になってしまってちょっと最後、
0:44:52	どうなるかっていう、まず順序を追って説明しますけれども、当然シミュレーション側から分析をスタートしたわけではありませんで、観測記録の分析から始めておまして、
0:45:05	近い地震だと、当然近いところは我々気になりますので、敷地に近い、これ目安は大体 10 キロとしましたが近いところっていう意味で見ても、
0:45:18	観測記録が、増幅する傾向のものが見られなかったもので、なぜだろうということ、分析を行いまして、
0:45:28	それで S R A 速度層のモデルを使いつつも、入射角の影響で、S 波低速度層によるフォーカシングの増幅要因からすると、
0:45:41	斜め輸入者の程度の違い、これ斜め入射といっても斜めであったら増幅すると。
0:45:48	いう単純な話ではなくて、実際には斜めでたくさん波が入ってこない、波のボリュームがないと当然集まっていきませんので、影響がないとまでは言えないと思うんですけども、
0:46:01	顕著な増幅という形までのところまでにはならないということかなという形でこういう入射角。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:09	基本的には近づいていくほど、入射角が立ってきますので、そういう傾向があるという形の分析を当時していたものです。
0:46:18	今佐口さんから指摘があるのは、10キロという範囲内で増幅がないということ、各確実に言い切れるのかと。
0:46:29	いうお話だったかと思うんですけども、
0:46:33	観測記録の分析結果観測記録の我々が持っている範囲と、あとSRSそのモデルの精度の問題もありますけどもその範囲内においては、顕著な増幅という形には、
0:46:49	起こりえないだろうというのが我々の分析でして、乾燥記録の中の分析結果とか、そういったシミュレーションの中で、全く影響がないかっていうところまでは、
0:47:00	さすがに現状では分析ができないってところなのが実情です。ちょっと説明なってるかどうかはわかりませんが、我々の分析結果としては、
0:47:11	今のような背景を踏まえて、地震動評価で顕著な増幅をする考慮しなきゃいけないような、そういった顕著な増幅が見られるというものはここについては確認できないということで取りまとめたものです。以上です。
0:47:29	はい規制庁、佐口です。ご説明いただいたことはもう、私も実は理解はしていて、ごめんなさい私の言い方もあまりよくなかったのかもしれないんですけど、
0:47:40	何がちょっと言いたいという確認したかっていう確認したかったかっていうと、この7ページと8ページの関係で、少なくとも8ページを見ると、
0:47:50	基本的に、
0:47:52	10キロ、10キロ以内のものってというのは、入射角が、
0:47:57	小さいので、そうすると、
0:48:00	このいわゆる増幅の要因となる低速度領域ですよね。ここがもし通ったとしても、増幅が、
0:48:10	されないんだよということがおっしゃりたいのかなとか思ってですね、結局入射角だけの話なのかなと思って、それで、7ページに、何かあえてこう、
0:48:21	半径10キロって書いてますけどでも10キロだって、その入射角によっては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:27	どうなんだっていう、
0:48:29	結局、重要なのは、10キロが重要なのか、入射角が重要なのかっていうのをお聞きしたかったのと、結局、御社がこう、
0:48:38	考えている震源特定せず、
0:48:42	という地震の地震像というのをどういうふうを考えられているのか、つまり、特定せずの地震だったら、
0:48:51	もう入射角が確実に小さくて、もうせいぜい数数数度程度のもの。
0:48:59	であるから、結局、そういった地震というのはもう増幅されないので考慮しなくてもいいのか、そうではなくって、
0:49:08	また別の、今の8ページで、先ほどちょっとスズキの方も幾つか確認をしてみましたけど、こういういっぱいいろんなことをこう並べて、
0:49:19	特定してではこういうやり方で下で特定せずではそういうやり方ができなかつたり、あと考え方がちょっとそぐわないんで、やりませんっていう説明と、
0:49:31	何かちょっと違うような気がするんですけど。
0:49:34	だから、御社が考える震源特定をせずというものの、
0:49:39	地震というものに対して、
0:49:42	結局増幅が起こるのか起こらないのかっていうのを私はちょっと確認をさせていただきたかったんですけどそのあたりちょっとどう考えられているのか教えてください。
0:49:59	中部電力の岩瀬です。
0:50:02	なかなか難しい。土肥のところではあるんですけどもちょっとその点も踏まえて8ページは、中央会、整理をして書いたつもりで、やはり震源を特定せず地震というものは、
0:50:15	やっぱり10キロ以内の記録っていうもので目安を持って分析はされるものだと認識はしておりますけれども、やはり断層面を設定しないだとか、震源の
0:50:27	どういう地震かというのを、根井、明確にイメージをしないで観測記録に基づいて、増幅。
0:50:36	続より地震動を評価するというものだと認識しています。そういう観点で8ページのところの小さいポチの二つ目のところで、
0:50:48	到来方向が限定されるような増幅現象っていうのを、まず地震動評価の考え方として、合わないんじゃないかということで、これ、顕著な増幅を考慮するんだったら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:59	特定するほうでしっかり考慮するのが普通の考え方で、特定せずは評価対象外ということではないかと。
0:51:10	ということで、まずこれが第1に考えたことです。とはいえ同やはりさっきのもともと10キロの記録を集めて、その記録に基づいて、地震動、
0:51:22	を考えるとという観点では、10キロの範囲内で、何らか顕著な増幅というもの乾燥記録で確認されているような形ですと、
0:51:32	それはまた顕著な増幅を考慮しなくていいというところまでは多分言えないと考えておりますので、監査記録についても、チェックをしてみると、
0:51:43	顕著な増幅という我々が分析しているものについては、マーケしているものについては、られた範囲という形ではありますけれども、
0:51:53	延長除くというところまでの記録はえられてないということで、特定せずの地震動評価の中では、顕著な続は考慮しないという予算直したものです。
0:52:06	入射角のところについては、低速度層をモデル化をして分析していますので、入射角という形の、目線を見たときにどういう考え方になるのかっていうのも当然説明していると。
0:52:19	そちらから考えても、澤邊さんをご指摘のように、
0:52:25	なかなか一定の規模以上の地震で、断層面を張った時に、入射角がかなり低角で、
0:52:33	入ってくるとこれ特定せず等に断層面をイメージしてしまうのがいいのか悪いのかはあるんですけども、断層面をイメージした時に、極端な状態としては入射角は、
0:52:44	だんだん斜めになってくるというのはあると思うんですけども、もともと直下地震という発想もあったように、震源像としては、特定せずとしては真下から入ってくるのを、
0:52:57	中心に考えるというところがあると思っておりますので、そういう目線の分析という意味ではS波低速度層とその要因分析という形としては、
0:53:07	現状の増幅を考慮しなくていいんじゃないかというふうにまとめられると考えています。以上です。
0:53:15	はい。経常サグチです
0:53:17	一応、考え方は、理解はしたつもりなんですが、
0:53:22	結局その、
0:53:23	私が一番

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:26	確認はしたいと思っているのはこの 8 ページでいう先ほど、
0:53:31	二つ、2 ポツ目っていうのが
0:53:35	ご説明いただいたんですけど実はこの 3 ポツ目の私は実は、
0:53:39	重要で、本当にここが言い切れるのかどうかというところと、
0:53:44	あと、
0:53:45	先ほどからちょっと何回も繰り返し、言ってますけどこの半径 10 キロ っていうこの 10 キロ、なんで 10 キロ 5 キロでも 15 キロでも 20 キロ で回って、何で 10 キロなのかなという。
0:53:57	御社はその敷地近傍というのを、10 キロ、
0:54:02	程度以内というふうに定義をされるのかもしれないんですけど、だから そこで、本社の考える特定せずという地震の、地震像というものがどう いうものかというのを確認したかったというのと、今
0:54:18	地震像という話で言えば、ちょっと資料の中で明確にやっぱりわからなく って、
0:54:24	場合によってはここでは今 10 キロでしてはありますが、
0:54:28	まだ最初の方の確認だったんで、
0:54:33	聞こうか、ちょっと迷ったんですけど後の方で、実際の
0:54:38	観測記録、
0:54:42	による位相の考慮をする。
0:54:45	ところで、
0:54:47	御社が収集対象としているのは、30 キロ。
0:54:52	じゃなかったかなと思うんですけど、
0:54:54	ちょっと何、何ページかすぐすぐ出てこないですけど、
0:54:59	だから、そのあたりですよ。いや、もう、
0:55:03	うちは 10 キロ、もう定義しますっていう話だったらそれはそれでわか るんですけど、あくまでも収集は 10 キロって限定してしまうとちょっ と記録がなさすぎるのもうちょっと、
0:55:14	広めに見ました。62 ページとかですよ。
0:55:17	っていう話なのか、いやいや、広げるんだってもう、でも 30 キロじゃな くても 50 キロで別に幾つもあるんじゃないのって震源深さだって別に 20 キロとは言わず 30 キロでもあるんじゃないのとかですね。
0:55:31	別にマグニチュードだってなんか、あんまり。
0:55:35	53.5 以上とかにする必要ってどこにあるのとかですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:40	ちょっと、それは後でもう1回確認をしますけど、なので、御社が考える、特定せずというものの震源像というのが、少なくとも私にはこの資料から見えない。
0:55:52	ていうのがあったので、確認をさせていただいたと。
0:55:56	それと、8ページでちょっと気になったのは、
0:56:00	先ほど都築の方からも少し確認しましたが最後のポツのところ、
0:56:05	続方向にあって、
0:56:08	その震源断層が特定せずなんでは、断層モデルとしてはつけれないって、そういうのはわかるんですけど、
0:56:16	逆に言うと、この規模のクラスが、例えば増幅方向ですよ。
0:56:22	今特定支店の方は、要は南北走向の断層を、
0:56:29	見てるので、一部になるかもしれないんですけど、このむしろ層厚がですよ、このN30EからN72行すっぽり入ってしまうようなものだったら、
0:56:42	別に部分的じゃなくて全部にかけても、
0:56:45	いいわけなんですよ。当然ながら、それは特定できないんで、どう、どういう断層かもわからないので、
0:56:51	そう考えると、
0:56:53	この最後のことって、あくまでも震源で震源を特定してやったことだけを書いているのであって、
0:57:00	特定せずの
0:57:03	なんていうんすかね。もう、どこにどういう形であるのかもわからないということ踏まえると、
0:57:08	ちょっと最後のポツは、
0:57:10	あくまでも特定してやったことだけを書いているのかなという気がしたんですけど。
0:57:16	ちょっとそこの辺りも考え方を教えてください。
0:57:27	中部電力の岩瀬です。
0:57:30	多分10キロのところの考え方とかそういったところには関係してるんだと思いますが、ちょっと先に簡単なところからいきますと、
0:57:44	我々としては特定せずは記録に基づいて震源像を考えずにと、記録に基づいてと言っている中で、まず10キロの範囲内の記録を考えて、
0:57:55	ないときは30キロって拡大するものだと思っています。それで移送に関しては、先行サイトとかで30キロまで探しているサイトが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:06	結構あったので、ちょっといきなり 30 キロまで書いてしまいましたけれども、当社としては 10 キロの範囲内で、広くありますし、
0:58:17	その 10 キロの範囲内に術
0:58:19	大きな、
0:58:21	大きなといっても、キロ、当社の中で記録がある範囲ですけれども、10 キロの範囲内で記録が、Mがそれなりの大きいものがあったので、
0:58:31	それを使うということをしています。マグニチュードも、特定せずといった時に最終的に問題のある地震動っていうのは、
0:58:44	小さいM3とか4の小さい地震動ではなくて、一定程度の規模以上の地震だと思っていますので、移動を参考にするといっても、選ぶならその中で一番規模が、
0:58:56	大きいものの方がいいだろうという考え方はあって選んでおります。これ前提条件のところの補足になります。
0:59:04	もう一つ、今晚的な
0:59:08	特定せずをどう考えるかですけれども、
0:59:11	記録をもとに考えるということで、近くの記録ってことを中心に考えておりますので、
0:59:19	実際の震源像としてはあり得るではないかというふうな考え方をすると、沢木さんがご指摘されるように、増幅エリアの中に震源を、の像としては断層面はわからない。
0:59:33	だとしても、増幅エリアの方に入った地震っていうものは、つくれなくはないよねというところは、おっしゃられる通りだと思うんですけども、
0:59:44	我々としてはそういうふうな考え方をするものは、特定しての方の地震動評価で考慮するものと、
0:59:51	考えて、特定せずではそれは評価対象外なんではないかということで、我々はこの資料を説明させていただいておるといってございます。以上です。
1:00:09	はい。規制庁の名倉です。
1:00:12	ちょっと先佐口の方からいろいろ指摘したところで、私もちょっと7ページの、
1:00:18	四つ目の丸の、
1:00:21	二つ目の一つ目のポチの後半部分。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:25	半径 10 キロとか何かいろいろありますけど入射角とあと顕著な増幅っていうキーワードでちょっとお聞きしたいのは、ちょっとこれ
1:00:34	主張している内容とその根拠となる図表との関係とか図表の中に何を言ってるかっていうところが曖昧なのでちょっとお聞きしたいんですが。
1:00:44	まず入社学といった時に A 層下面での入射角って書いてあって層ってその下に注記入ってるんですけど、
1:00:51	これすいません、私が知らないだけかもしれないけど、具体的にはどこの深さをエースを下面としてるのかということと、それから顕著な増幅が見られないと言ってる顕著な増幅っていうのは、閾値はどれぐらいを目安にしてるのか教えてください。
1:01:19	中部電力のイワセでちょっと、すいません、今回特に A 層の深さについては、
1:01:28	前回補足で出した方の地下構造の評価の資料には入れてったんですが、
1:01:35	ちょっと今回は、
1:01:37	入れてないので、
1:01:40	確か低速度層の下の、なので、数百メートルよりは下だったっていう。
1:01:46	フルに、
1:01:47	考え、
1:01:50	モデルの規制序ナグラで趣旨としては、
1:01:55	入射角っていうことを主張するのであれば、その入射角を測定している。
1:02:01	位置を明確にしないと、それが敷地内の低速度層との関係で議論できないんじゃないかと、そういう前提が、説明されていないんじゃないかっていう意味でお話をしたので、
1:02:15	具体的な深さをわかるようにしてくださいというのが一つと。
1:02:20	あと顕著な増幅ですはい。
1:02:22	はい。わかりました入射角 2 のところについては、先ほど来ご質問が佐口さん、野中もございますように、
1:02:32	観測記録の方を主体に入射角をまず見ずに、10 キロとかいう範囲で増幅。
1:02:41	がありなしを判断しているのか、入射角を中心に判断してるのかっていうのをまず明確にした上で、入射角を中心に判断をしているということであれば、もう少ししっかり根拠を

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:55	読み取れるようにしないと、それをどう読んでいいかわからないということだと思いますので、その辺り資料の適正化をしたいと思います。規制庁の長南。
1:03:09	すいません
1:03:10	入射角を主張上どれぐらい重みづけを置くかによらないで、入社額という定義が出てくるんだからその時は入社額ってのはどういう定義ですっていうのを説明してくださいと言ってるだけです。
1:03:22	これは定義だけの話です。
1:03:24	お願いします。
1:03:26	中部電力の岩瀬ですすみませんちょっとまとめ方の方にイメージがいつてしまったのでいずれにしろ入射角のところの根拠がわかるようにはつきり記載をするようにしたいと思います。
1:03:37	もう一つの顕著な増高をどの程度で判断しているかということですがけれども、実際見ている記録っていうのは、そんなに大きな
1:03:48	加速度が獲られている記録ではないということもあって、一定程度、分析でどうしてもバラバラとするということで、一つは、なかなかどれぐらいの基準で見てるっていうのは言いにくいんですけども、
1:04:04	2倍を超えていくような、
1:04:08	ものがあると、やはりちょっと観測記録の分析経過分析としては、幾ら振幅が小さいといえど、ちょっと、
1:04:19	そういうものが多くなってくると、ちょっと分析が必要かなというような考え方をしておりますが、摺動を行ったときに、
1:04:31	2倍を超えていずに大体1.5倍ぐらいのばらつきの、以内に入ってちょっとそこを飛び出ることある記録にあるとしてもそれぐらいの範囲内のものであれば、顕著な増幅という形では、強化をしていないと。
1:04:44	ということでございます。ちょっと明確に言えなくて申し訳ないですけども、記録の分析を見ながら、そのあたりは判断しているところでございます。以上です。
1:04:57	規制庁の名倉です。
1:04:59	ずっと前ですかね、もう10年以上前。
1:05:04	お聞きしていたところの限りでいくと、
1:05:08	大体1.4倍5倍ぐらいを超えるとちょっと普通の観測記録の
1:05:14	何ていうかな、丸め込みの範囲っていうことを、1.4倍5倍を超えると、少しちょっと特異な傾向が出てくるかなという、感触に入ってきて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:29	それで二倍を超えると大きくなるんだろう、ちょっと無視できないということで、やっぱり 1.5 倍から 2 倍ぐらい。
1:05:37	それを超えると少し、これについてどうどうすべきかっていうことに対して検討が必要になってくるんじゃないかなというふうにちょっと思ってますけど、そういった感覚でくられた時に今の説明は大体、
1:05:50	一致してるのかなというふうに思いました。私からは以上です。
1:06:02	あ、谷です。ちょっと細かい話で、
1:06:06	確認したいんですけど、さっき宗サグチの方からも確認してた中で、7 ページの方に、
1:06:14	7 ページの下の絵の四つある中の左側から 2 番目のところで、
1:06:22	10 キロっていう単語が出た時にその N70° E っていう線が引いてあるよりもっと、南側にこのなんか黄色の点が 1、
1:06:33	2 個あってオレンジ色の点が 1 個あるんですけど、
1:06:36	これって増幅にと考えているのか、その
1:06:42	検知の増幅の原因のフォーカシングで、この辺は、
1:06:46	増幅してるっていうふうに分析してるんですけど、それともその分析の対象としていないっていう地震なんですかちょっと細かいことなんですけど確認させてください。
1:07:23	中部電力の岩瀬です。
1:07:27	衛藤。確かに、N70E の付近にあって 10 キロちょっと遠いぐらいのところの黄色とかオレンジの、
1:07:37	記録ということだと思います。この辺りもやや、
1:07:44	赤とかまでは言ってませんが、あと、これ多点連続観測の臨時観測の記録で、結構小さい記録を含めてしっかり分析しているもので、
1:07:54	バラバラとはしている中でありますけれども、
1:07:59	やや増幅傾向が見られるということだとは思っていますので、この辺も踏まえたときに、N70E 胴縁 30E で増幅エリア、
1:08:10	ていうものをいきながらも、やや広目に、特定下のところでは増幅特性として保守的に考慮して、それらの範囲も含めて、保守的な評価ができているというふうに考えているものでございます。以上です。
1:08:28	小谷です。
1:08:30	これが小さいのか大きいのかちょっと別にしても、こうやってオレンジ色の点が出るっていうのはフォーカシングの影響、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:40	かもしれないっていうふうに考えてるってことなんですね。いや僕が聞いたのは、
1:08:48	10 キロ程度以内の、地震ほど顕著な増幅が見られない傾向があるっていうのに対して、この辺どう考えてるのかなっていうのが気になって、
1:08:58	確認したんですけど、もしこういうのがじゃあ等、
1:09:02	右から、
1:09:06	2 番、右に、一番右の図とか、右から 2 番目と下の図に入って、
1:09:13	来ると。
1:09:15	これ、
1:09:16	近い、
1:09:18	近いほど現地の増幅が見られない傾向があるっていえるのかなというのが気になったので確認したんですけど。
1:09:28	ひょっとしたら、その辺入れると変わるかもしれないってことですかねこの説明。
1:09:45	中部電力の岩瀬です。オオノ記録を考慮したとしても、
1:09:52	全体の傾向の上では S R A 速度層の影響としてはモデルも含めて分析として、
1:10:00	基本的にはこの傾向があるという意味においては、これと言ってるんじゃないかと思ってますが、一方で、今回、我々、近傍だと思っている 10 キロ、
1:10:13	のところに範囲に関しては、これ
1:10:18	ほぼ 10 キロと。
1:10:26	10 キロだと、この辺の記録が、微妙なところにいるということもあってそれでもっと近いところの、しっかり 10 キロの範囲のということで、今回 2000、
1:10:40	2015 年の近傍の記録の分析を、前回のヒアリングの指摘も踏まえて、分析してお示ししていると。
1:10:49	いうことで、
1:10:52	我々の 10 キロという形近傍増幅を、顕著な増幅がないという分析としては、できているんじゃないかと考えている次第です。以上です。
1:11:05	井谷です。さっき佐口さんから確認したこととあわせてですね、この辺の
1:11:11	考えがわかるように、
1:11:13	資料になればいいなというふうに思いました

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:18	という説明を聞きおきました。
1:11:38	ちょっと今の谷井の話と少しかぶる部分があるんですけど、
1:11:43	その
1:11:44	さっきも私冒頭で確認した中でも入るんですけど 39 ページで、
1:11:49	追加分析したものの。
1:11:51	で、
1:11:52	これを含めて、冒頭の概要にあったり、考慮しないと言ってるこの市長に使ってるのか、ただ冒頭の長野説明の中にはデータとして入ってないので、
1:12:03	これは、その前のページですよ 30、
1:12:07	8 ページまでで、震源近傍、敷地近傍の地震ほど顕著な増幅が見られない傾向があると。
1:12:15	言い切れた上で、その上で、念のためやってみましたってことなのか、結局この 39 ページって市長根拠に使ってるのか、その外であるんだけど補強材料として使ってるのか。
1:12:28	どっちなんですかね。冒頭の説明に入っていない以上は、
1:12:32	38 ページまで、
1:12:35	ですね冒頭と同じデータなんで、38 ページまでで市長を仕切っているというつもりなんですか。
1:12:41	こっちですかね。
1:12:47	中部電力の岩瀬です。もともとの傾向があるという記載も含めて、
1:12:55	冒頭のところに書いてあるものは、もともと分析済みの、
1:13:01	審査のすみませんちょっと前、7月7日時点で申請時点で分析したとか、前回のヒアリング以前で分析してたかとかいうことではなくて、
1:13:14	今の現時点で御社がこう考えてる交渉するって言うところの説明根拠に使ってるのか、使っていないのかなんんですけど、
1:13:25	いや後から何で全体としてまとめた資料になんか入ってないんです。それはもうそれぞれ別々に見てくださいではなくて、
1:13:33	そうすると何ですかなんかなんですか。
1:13:38	当然分析をしてそれも踏まえて、結論を、
1:13:42	変えて、変えていくとか
1:13:45	説明をするという考え方ですので、7 ページまとめの記載もの適正化も含めて、39 ページの追加分析結果も含めた形で、
1:13:58	説明するように資料を適正化したいと思います。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:03	ちょっとわかりましたからいいました。適正管理分ぐらい時間かかるかはさておいて、一応その 39 ページの追加分析結果も含めた上で、
1:14:14	この 7 ページの、まずには入ってないだけの話で 7 ページにあるような、7 ページ 8 ページにあるようなこういう説明をしているとそういうことですね。すみませんそこだけわかればですね。はい。
1:14:25	中部電力の要請でその通りでございますはいすみません。ちょっと聞き方がわかりづらかったかもしれません。どうもありがとうございます確認できました。
1:14:41	規制庁の名倉です。
1:14:43	私とんでもないことを言うかもしれないけどちょっとそ、素朴な疑問なんですけど、
1:14:50	震源を特定せず策定する地震動で全国共通的に考慮するものといったときに、標準応答スペクトルだと留萌はがあるんですけど、
1:14:59	この留萌の波ってというのは、観測地点、
1:15:03	A - との関係でいくと、震源と観測地点との関係でいくと入射角がどれぐらいだっていうのはちょっとご存知でしょうか。
1:15:17	中部電力のイワセですちょっと留萌地震については、入射角の関しては、情報を持っておりません。
1:15:27	わかりました。すみません。結構です。
1:15:34	規制庁佐口ですけど、ちょっと確認、細かい、すごい細かいことの確認なんですけど、
1:15:40	19 ページの、
1:15:44	真ん中の一番左のこの図ありますよね。
1:15:48	さっきの 8 ページとかでもいいんですけど、
1:15:52	ページ 7 ページか。
1:15:53	7 ページのこの一番左の図と、
1:15:57	37 ページの右下の図って、何か微妙に何か店の数が違ったり、
1:16:05	たりなんかそう見えるんですけど、これ、何が違うんでしたっけ。
1:16:37	サグチすぐごめんなさいわかりづらいかもしれないですけど例えば北の 0° から 30 分の間の、1 から 2 の間のこの、
1:16:47	何か四つ三角が、
1:16:49	あると思うんですけどこの位置がちょっと、ちょっと違ったり、あと、
1:16:53	北野、これ 60 度なんですかね、60 度から東のところの 90 度に行く間の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:59	2、
1:17:02	付近の点数が何かちょっと違ったり、多分他も見ていくと、
1:17:07	いや多分 180 度の南から 210 度ない間のこの、
1:17:13	2 があったりなかったり、2 のところですね、こんな何が違うんでした つけ。
1:18:09	中部電力の岩瀬です。ちょっと今すぐにわかりませんので、確認をさせ ていただきますすいません。
1:18:48	はい。規制庁佐口ですじゃ、ちょっと少し先に進みますけど、11 ページ 12 ページで今回追加もされている部分もあって、基本的に
1:19:01	若干違うのかなという。
1:19:04	ところはあるんですけど、11 ページの下の箱書きのる一二つあって上 が、当然岩手宮城のその震源周辺の話って、
1:19:16	下の丸が、
1:19:17	当発電所周辺なんですけど基本的にこれ、
1:19:21	その上と下の 0 っていうのは、対になっている文章的にも、
1:19:29	例えば最初の文章だと、
1:19:30	たくさんあって最終的に大規模滑り地形が多く見られる地域であるこれ 岩手磨きの方ですね、で回ると。
1:19:39	下の方は、
1:19:41	こういう最後の〇〇をたどると、段丘堆積物が分布している。
1:19:50	地域である。
1:19:52	で、多分この一文をそれぞれ対比して、一緒か、そうじゃないのかって 見比べばいいのかなと思ったんですけど、そういうふうに見ていけばそ のあとの、
1:20:03	また以降は、上も 4、下もまた
1:20:07	書いてあるので、その文章を、
1:20:09	見ていけばよくて、
1:20:15	ていう。
1:20:16	まず理解でいいのと、良いのかというのと、
1:20:20	基本的に上と下で、
1:20:23	一対一の関係になっているかどうかという観点で、
1:20:28	ここは一対一の対応していると。
1:20:32	いう理解で。
1:20:34	よろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:37	はい。中部電力今井でございます。佐口さんおっしゃった通りで一応上と下の項目で、対になるような記載となるように、意識して記載をしてございます。
1:20:48	元になるのは先ほどの、
1:20:51	本文の中にもありました比較表のところをベースにして、まとめの文章では書き下すといった形で、今回直させていただきます。以上です。
1:21:02	はい規制庁佐渡です。わかりましたなので例えば岩手宮城だと、その細かいことは後ろにあって一覧表で、例えば 131 ページで、
1:21:12	これが対比できるような形で見ればよくなって、この要素というのが少なくともこの 11 ページとかには入っているという理解でよろしいですね
1:21:26	はい、それで結構でございます。中部電力今井です。それで結構でございます。
1:21:45	規制庁ニシキですけれども、今の 1112 の概要のところ、地域性を考慮する地震動で岩手宮城と鳥取県西部の比べられるんですけども、
1:21:56	ここの概要ということである種、これを見ればすべてわかりますよところなんですけども、ちょっと何か気になるのが一番、12 ページの一番箱書きで結果
1:22:07	観測記録収集対象外とするのかもしれないんですけど、何かこれって鳥取県西部と岩手県宮城の、もう新岩手宮城の内陸地震でそもそも、
1:22:18	何でこれを集めなきゃいけないんですか。前回のヒアリングも少し、
1:22:22	確認させていただきましたけども、それぞれ意味があったこの地震をっていう話なんところに対して何か最後、何か地質学的背景等が異なることから、結構何かここに、
1:22:33	すごく押し込んで説明してる間に見えちゃったんですけども、
1:22:38	ていうのがちょっとあって、ちょっと何かまとめとしては見づらいのかなというふうな、ちょっと気がしているのと、あと、1112 のところへ、それで絵が出て、
1:22:50	出されてますけど売りさんの、
1:22:53	地形図の地質図ですけれども、何かこれより何かもうちょっと見せるんだったら、例えば岩手宮城だと、あれですよ
1:23:06	いわゆるマンガン層とか、
1:23:08	地表に活断層が出づらいのが分布しているのかしないのかっていうところで見なきゃいけないところであって鳥取県西部というのは活断層が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:17	断層ミスが多いのか少ないのかというところを示すような話だと思うんで何かこの支出淡々分布どこにど維持関係を示しているにすぎないような図で何か、
1:23:28	概要ですって示されてる気がして何か少し後ろの方で説明されてるのに何かちょっともったいないなって気がしたんですけどその辺どうお考えなんですか。
1:23:39	はい。中部電力今井でございます。ご指摘ありがとうございます。
1:23:44	まず最初にまとめのところで、いろいろと、上の四角で違うこと言ってもう最後のところでざくっと書いてあると。
1:23:52	実施設学的背景というふうに一言でまとめちゃっているのがいかがというところでございますが、
1:23:59	あと2点目のもう少しこの図を、五藤管理者という、
1:24:03	ご指摘でございます。多分
1:24:05	審査ガイドにおいてなぜこの量自身が事前に活動が、存在が指摘されていなかったのかという観点で見たときにもう少しその文章と数を工夫した方がいいというご指摘かと理解しましたので、
1:24:19	ちょっとあの付ける像例えば活断層の分布図にするとかですね。
1:24:23	あとは先ほどのまとめの記載もですねそういった各地震がなぜ事前に特定できなかったのかといった観点でもう少しいかさせていただきたいと思います。以上です。
1:24:38	はい。
1:24:41	規制庁ニシキです。いずれにしろ御社がラインをここでどう比べなきやいけないかっていうことを最後ここで求められると思います。その辺せっかく、むしろ多少その素材、
1:24:54	宇和そろってる、あるかと思しますのでその辺はもちろん菅、
1:24:58	まとめていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。
1:25:03	はい、中部熊井です。拝承いたしました。今回このまとめて付けたのはそもそも基盤地質構造の
1:25:13	地体構造がもうそもそも違うよというところが、ベースかなと思っていて、こういったよう最初付けておりますけれどもご指摘を踏まえて、もう少し工夫させていただきたいと思います。以上です。
1:25:25	はい。すいません。ちょっとイマイ、
1:25:29	岩手宮城鳥取県西部の方に、すいません、私は言ってしまいますけど。ちなみに、田嶋さんと国井

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:36	冒頭のところの後、地質に個別地質のところに入るまでのところで、やはり増幅のところとかで、時間ありますか。なければもうすいません。岩手宮城の方に入ったので、
1:25:48	ちょっとその関係での確認を続けていきたいと思います。
1:25:55	規制庁タジマです。はい特にはないです。ありがとうございます。
1:26:00	はい、ありがとうございます。
1:26:02	ちょっと今すいません規制庁スズキ戻りますけれども、
1:26:06	ちょっと今概要のところの 1112 のところ入り込んだのちょっと私もこの岩手宮城とかですね鳥取県西部の方とかで、
1:26:17	確認をしていきたいんですけど、
1:26:23	これ、今最後ですね先ほどあったようにこの 1 最後ヤバ矢印で何々対象型に対象外としたっていうのがこれが佐野。
1:26:32	選挙で、
1:26:33	右側の、
1:26:35	図ですよこれは R I S ば R I S っていうばいいんすかね、
1:26:40	これ、後他サイトの参考に表まとめましたって言うんですけど、これは真砂概要のところのやっぱり図 2 図として引用しているからには、
1:26:51	この一番上ですよ。地帯構造区分のうち地震地体構造区分ではなくて、基盤の地質分類の地体構造区分これが最も重要。
1:27:02	あと、浜岡の方、敷地の周辺で、岩手宮城とか鳥取県西部とかと同じように、活断層を事前に見つけにくいかどうかという判定で一番重要だとそういう思って、
1:27:15	回転ですかそれとも何か新しいものだから一番上に置いたとかその程度なんですかね、ちょっとそこら辺、
1:27:22	他社ではこれ使っていないような気、記憶をされていてですね。
1:27:27	そこら辺例えば岩手宮城でいうと 131 ページで、多分一番上のものはあまり他社のところで見たくも見た記憶は、もちろん、そもそもが 2020 年なんで、
1:27:40	それより前の許可のところに入ってないでしょうし、
1:27:42	最近のものを見た記憶はないですし、地質分布のところでも、何か地すべり、
1:27:49	ていうのを使ってるようなところもあまり見たようなことがなかったりですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:54	逆に、下から2番目の活断層の分布の方で、何か応力場とかですね、その逆断層とか、何か正断層なのかっていう、
1:28:04	そういうのを使ってる者もあれば本社左側の岩手に書いてあるけど右側に書いてなかったりですね、実はその他社を参考に確かに③格×とか色分けは他社を参考にしたんでしょうけど、
1:28:17	何かオリジナルでやられてるところがあるんでちょっとそこを中心に、なぜこれをこうす
1:28:24	着目してるのかっていうのを教えてください。
1:28:29	はい。中部電力今井でございます。今回のこの割数2020を今回追加したのは、これ
1:28:36	審査資料では、審査会合ではございませんけども、またサイトで例えばフォーマットとかでもヒアリングで、新知見として使っていると。
1:28:44	ということでございます。
1:28:45	やっぱり震源を特定せずの地域性の比較においてはまず大局的な観点からですね、基盤の構造が違くと。
1:28:53	いうことがまず最初にあるべきかと考えておまして、そういった意味で、上の二つにですね、地体構造区分のうちの基盤地質と、あとは垣見先生の地震地体構造と、
1:29:04	いうのを二つまず並べて、そもそも大局的に、
1:29:08	岩城地域と浜岡は違いますよっていう話をさせていただいております。
1:29:13	そういう意味で、両地震が、事前に活断層が認められなかったという観点におきまして各項目ごとに整理をした。
1:29:21	いうのが今回の我々の考え方でございます。
1:29:25	いうところでございます。あとはこちらのところ、事実分布地形活断層の分布火山フロント、ここは先行サイトも、説明も参考にしつつですね、
1:29:36	我々として説明をしやすいような項目となる順番にその辺は我々の中で工夫させていただいて、今回のような記載としております。
1:29:47	鈴木さんおっしゃったようにこの比較のですね、判例の書き方だとかこういったところ先行サイトを参考にさせていただいて、
1:29:54	ということでございます。以上でございます。
1:29:58	はい。大間っておっしゃいました、大間のヒアリング資料ですね。
1:30:03	はい。中部電力今井です。大庭のヒアリング資料で、このR I Sというものを使っているというのは確認してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:10	なるほど。はい。
1:30:11	わかりました。で、あとじゃ、この表なんですけどね。当然その類似点が、何か1個でも2個でも見つかったらそれは、小地域、
1:30:21	同じなんだとって、考慮すべきとかそういうものではないはずで、
1:30:27	ここはあれですかね。
1:30:29	フラット2、地帯構造だったり地質断層分布だったり、
1:30:34	火山フロントとの位置関係火山との関係だったりっていうのを、鳥取県西部岩手もそれぞれす。
1:30:42	事前に活断層がわからない
1:30:45	見つけにくかったという要因はもちろん違うんですけど、ここはフラットに両者を比較しただけ。
1:30:53	なのか、もうこの表の中に、この表に載ってるものというのは、その両者ですね、活断層の見つけやすく見つけにくさっていうところの、
1:31:03	でのそういう観点での類似点を、
1:31:07	というようなものをすべて並べたものなのか、いやこの表があった上でそこから何か考え方があって、いやこれを重視して最後はじきますと。
1:31:16	いうやり方をしているのか、ちょっと他社の表のつくり生まれましてとされていると、ちょっと御社としての考えが入っているのか、表の作りを真似しただけなのであまり、
1:31:27	深く考えずに表を作りましたっていうだけなのかそこら辺って何かあります。
1:31:34	はい。10分の9イマイでございます。公表に関しましては特に岩手宮城と鳥取県西部でそれぞれの地震で事前に活断層の存在が指摘されなかった要因というのは、それぞれ異なるんですけども、
1:31:46	我々としてはまずフラットにですね、地帯構造区分から各地質、地形、活断層、
1:31:52	火山等という項目はですね、地震ごとにカスタマイズするのではなくて、両地震とも共通の項目としてまずは比較しようということで今回整理してございます。
1:32:03	その中で特に岩手宮城で3期層が厚くというところ、キーワードはですね、岩手宮城でも事前に特定できなかったように一つとしてやっておりますけれど、
1:32:13	なっておりますしてそこは確かに類似点ありますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:17	その他のですね、火山地形だとか、火山噴出物大地震規模な実日、そういったようなですね、項目も異なりますし、
1:32:26	劇場となる段丘面の存在の比較、こういったところも全く異なるということと、
1:32:31	あとはそもそも地体構造として全く異なると、いうこともございますので、こういったことを総合的に勘案して、今回は多数記録の対象外としたと、というような整理をさせていただいており、
1:32:44	以上です。
1:32:46	すみませんわかりましたととりあえず表は、特に何を重視してということではなくて、
1:32:52	とにかくフラットにまとめたってことですね他社のものをももちろん参考にしながら、先行のも、事例も参考にしながら、
1:33:02	わかりました変えました。
1:33:18	すみません概要ベースから入ってしまったんで他にない、岩手宮城とか鳥取県西部と、この辺の関係で何か、
1:33:26	ありますなければ、
1:33:30	はい。
1:33:33	規制庁ニシキですけれども、すみませんちょっと岩手宮城のところでちょっと、
1:33:37	記載のところでちょっと、
1:33:39	きちんと書いておいて欲しいのがあって123とか124のところ、
1:33:46	右側の方の図で、岩手宮城と敷地周辺みたい、岩手宮城内陸地震と敷地周辺ていうかで区分されてるんですけども、パッと見た時に一瞬これ、
1:33:56	地震と敷地周辺で何か比べコストが違うとか思って見えちゃって、多分これ紫色の方は内陸地震の震源域と、
1:34:06	敷地周辺っていうところの違いを示したいかと思うので、一緒に何かこれ地震と書いてて、
1:34:12	阿南なんだと思ってなんか、これなんか比べてるもんで何なんだろうと一緒に思ってしまったのでちょっとその辺はもう記載は適正化案と131とかそういうきちんと書いて、
1:34:23	るかと思しますのでちょっとその辺は、注意して他のところも、修正していただければと思いますのでお願いいたします。
1:34:33	はい。中部電力今井です。ご指摘ありがとうございます。記載の適正化の方さしていただきます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:52	はい。岩手宮城鳥取県西部の方もということであれば、長今回の説明資料上ですね、
1:35:00	増幅の話がかなりボリュームがあるので、他の部分のところも通して、全体で、
1:35:10	気になった点、5、
1:35:13	ちょっとすみませんちょっと今私、ページを探してるんで、その間に何かある方がいれば、なければすみませんちょっと私がページ探すのしばらくお待ちください。
1:35:23	あ、規制庁サグチですけど、ちょっとごめんなさい。元に戻るとというか私もちょっと最初からもう1回見てですね、先ほどちょっと、
1:35:31	いくつか聞いた中で62ページのところが
1:35:37	少し確認をさしていただいたんですけどさらに、
1:35:42	確認ということで、
1:35:45	観測記録の収集の条件ですね、収集とか、中、抽出の条件、
1:35:54	観測期間は当然観測がある観測記録のある期間なんでいいんですけど、
1:36:01	これを、
1:36:02	先ほどのその10キロとか、そういう話と、この使用距離30キロ以内っていうものが、
1:36:08	どういう位置付けなのかっていうのと、
1:36:11	地震規模も、マグニチュード3.5以上っていう話で、
1:36:16	これ多分、ある程度の大きさがないと、結局、記録の精度っていうんですかね、そういうのが確保されないという意味なのかなとは思っ
1:36:27	たんですが、
1:36:29	あと例えば震源深さも20キロ以浅とか、
1:36:32	これ結局ですね最終的に、
1:36:36	これはこれでまたお聞きしたかったんですけど、
1:36:40	じゃあ、どういうふうにまとめているかというのと、
1:36:45	実際にその一様乱数とそれから観測記録に基づくものですよ。
1:36:50	これ前回のヒアリングでも確認させていただいたんですけど66ページのところで、
1:36:56	最大加速度どうなんですかっていう話で、
1:37:00	御社は少なくとも、最大加速度っていうのは、
1:37:06	大きく変わる大きく変わらないっていうかほとんど同じだと。
1:37:11	いう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:12	判断をされていて、
1:37:15	私なんか見ると、例えば、
1:37:18	水平方法だったら、
1:37:21	数十Gal違って、
1:37:25	延長広告なんて100ガル。
1:37:28	近く違うわけですね。
1:37:31	だけど御社は少なくとも9日速度っていうのは大した違いじゃありませんよと。
1:37:36	判断をされていると。
1:37:38	一方で、
1:37:40	共振分の継続時間は、
1:37:44	一応乱数の位相1を用いた方法の方が長いということで多分これ矢印を引っ張られている部分かなと。
1:37:52	右下にその強靱部はこの矢印の部分ですよってあるんですけど、
1:37:57	一応これ、何秒ぐらいかぐらいは少なくとも入れていただきたいと思えますし、
1:38:05	結局、
1:38:06	その67ページで、
1:38:08	じゃあ何で、一応乱数の位相を用いた方法による地震動を採用するかっていうと、
1:38:14	結局この強靱部の継続時間だけなんですよ。
1:38:19	おそらく、上と下をこう、
1:38:22	見ていくと応答スペクトルでも差異は認められない。
1:38:26	時刻歴は形は、
1:38:29	最大加速度は変わらない。
1:38:32	包絡形状、もう、
1:38:35	地震基盤と解放基盤だって傾向は大きく変わらないでこれはどうかを、
1:38:40	は別としてですね。
1:38:42	そうすると、結局共振分の継続時間だけで、
1:38:46	一応乱数を
1:38:48	の方を採用すると。
1:38:50	しているんですけど、
1:38:52	そうするとですよ、もうすぐごめんなさいも、もう1回62ページに戻っていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:58	例えば、
1:39:00	なんですけど、
1:39:04	これ 30 キロ以内っていう話がありますね。30 キロ例えばちょっと超える、
1:39:09	ようなところに、
1:39:11	実は嘘そこそこ大きい地震の大きい規模の地震があるですとか、
1:39:19	あとマグニチュード 3.5 以上、
1:39:22	D、
1:39:23	してますけど、例えばちょっと下回るんだけど、実は観測された。
1:39:28	加速度としては、意外に結構大きいものがあったりとか、
1:39:33	なんかそういうのが、
1:39:36	実はこの表だけではわからなくて、
1:39:40	で、
1:39:41	当然ながら、基本的についていうのか普通に考えればマグニチュードが大きい方が、その共振分の
1:39:50	継続時間って、
1:39:52	長いのかなと思うんですけど。
1:39:55	結局、一応乱数だって、
1:39:58	じゃあこの共振分の継続時間って何で決めてるかっていうと、
1:40:04	要は泰然というか、ノダでしたっけ、あれの包絡関数で決めてるだけの話で、
1:40:10	そもそも一様乱数っていうのは基本的に同じような振幅がまずっと続くのが大前提にあって、
1:40:17	結局マグニチュード、
1:40:19	M7 ですよ。それぞれで、
1:40:22	どうなるかっていうだけの話で、そうすると結局 62 ページに戻ったときに、
1:40:28	今の最終的に比較のこの共振分の継続時間だけで、
1:40:32	選ぶのであれば、
1:40:34	もうそもそもですね最初の 62 ページのマグニチュードが 7 クラスのものがなければ、もうそれで、
1:40:40	終わりなんじゃないかなと思ったりですね。
1:40:43	ちょっとその辺りの関係。いえ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:45	マグニチュード実はちょっと小さくても、継続時間が長いような地震が実はあるんですとか、そういう話だったらまた別ですけど。
1:40:55	それが、
1:40:56	今の 62 ページだけだと。
1:40:58	わからなくて、例えば他社さんですと、
1:41:01	観測記録っていうのはまずこういうものがあります。その中で、例えばマグニチュードはこれぐらいのものです。信用供与、これぐらいのものでからこれぐらいで、最大加速度を見るとこれらのものですかっていう、
1:41:14	例えば一覧表があって、その中で、これとこれとこれをこういう理由で、抽出をしました。
1:41:22	というのが、
1:41:23	ある。
1:41:25	はずなんですけど、
1:41:27	そういう資料は少なくとも今ついてないってことでよろしいですよ。
1:41:39	中部電力の岩瀬です。さっき、最初の方でご質問いただいたところにも関連するとは思いますが 10 キロと 30 キロをどう考えるんだと言ってる。
1:41:51	中で、
1:41:54	まさに 30 キロまで広げて見ているのは、10 キロの記録の
1:42:01	中で、なければ 30 キロまでの記録を見てどの、より大きな規模のものとかそういう議論が起こる可能性があるので、
1:42:11	最初に 30 キロまで出してるんですけども、10 キロを中心に見るんだという考え方とか、M3.5 と一定の規模以上の地震を見るというような考え方とかそういったところが確かに欠けておりませんので、
1:42:28	まずその辺りを整理させていただいて書く。
1:42:31	書かさせていただければと、まず一つ思います。
1:42:38	もう一つ、
1:42:41	我々やはり、
1:42:43	内陸地殻内、特定せずの地震動で参照するものとしては、基本的には震源に近いところの記録、
1:42:53	を見るものだと思っておりますので、
1:42:56	徳、遠いところで規模大きい地震って言ってるものになると、ちょっともともとの経路から何から状況が違ってきってしまうので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:07	もし記録がなくなければ確認をとしてそういうものをするということかなど。
1:43:15	思っていてまして、ちょっとそういう状況に至らなくても敷地の近くで記録が、M4.3ですけど、だったので、ですけれども、一定の規模で一定のレベルのものがありましたので、
1:43:28	これでやっておけばいいだろうとは思っています。ただ、ご指摘のように、M7に対して、それなりに小さい。
1:43:38	規模になりますので、確認という形にしかならないので、こちらが基本的に優先して、
1:43:49	この観測記録に基づく地震動の方を選ぶということには基本的にはならなくて、これが
1:43:56	規模が小さいにもかかわらず、
1:44:02	実際に計算をしてみても一様乱数で考慮できないようなものが、何か出てきたら、
1:44:11	それはまた別途考えなきゃいけないんですけども、実際には同じような特徴の形で評価がされていると、いうことですので、
1:44:20	一応ナンツウの方で代表させておけば、やはり十分だろうという確認がとれたという評価ができていますと考えております。
1:44:29	この記載のまとめ方とかにつきましては、寸法サイトの記載を参考にさせていただきます。
1:44:42	端的に書くことを意識して書いたんですけども、ちょっと考え方とその考え方に対して、先ほどの継続時間が、
1:44:52	どうかという問題も、どういう位置付けになるかの紐づけができていないので、
1:44:58	この最終結果だけを見ると、継続時間の長さだけで、
1:45:04	最終判断をしているように見える点が、いかがなものかということだと思しますのでちょっとその辺、冒頭の考え方の整理もあわせて資料の適正化をしたいと思います。以上です。
1:45:20	はい。規制庁佐口です。
1:45:23	くどいようですが、もう1回確認をさせていただきたいのは、66ページで御社は、
1:45:33	最大加速度はもうほとんど変わりませんという判断をされたべ、よろしいですね。
1:45:51	中部電力の岩瀬です。何でしたっけ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:56	少なくって、ちょっと表現の問題はあるとは思いますが、一応乱数のものを大きく上回るような意味ものは、ではないという意味で大きく変わらないというふうに、
1:46:11	書かさせていただいたのでちょっと確かに鉛直の方が少し、
1:46:18	差が大きい形で小さめに出てる場所等の表現が、
1:46:23	気になられたということだと思いますが
1:46:27	一応乱数のところを超えるような、
1:46:30	ことは、大きくはないということで大きく変わらないというふうに仮定して判断をしております。以上です。
1:46:40	はい。規制庁サグチさんの考えはわかりました。何年なんでお聞きしたかっていうと、私は、あくまでもその優劣をつけるっていうわけじゃないんですけど。
1:46:50	そういう差があるのかなのかってのははっきりした上で、結局6名、67ページでじゃあどうしましょうかというのが、
1:46:57	あった方がいいんじゃないのかなと思ってちょっと確認をさせていただいたんですけど少なくとも考え方はわかりましたので、
1:47:26	規制庁の名倉です。
1:47:28	すいません資料の充実という観点でちょっとお願いしたいことがあります。
1:47:35	例でいきますと資料の60ページとか63ページなんですけど、
1:47:42	これは他のサイトにもうちゃんと書いてもらうようお願いしてるんですが、
1:47:48	藤スペクトル比、真ん中のところ図がありますけど上下に水平動と、
1:47:54	鉛直動分けて書いてありますけど、最低値のところはプロットをしていただいで数値がわかるようにしていただきたいなというふうなところが1点。
1:48:05	それからあと、もう、すみません。次の1点は、
1:48:11	49ページ50ページ。
1:48:17	ここ今回、この位置に残しておくかどうかってのは確かにあると思うんですが、
1:48:25	震源を特定せず策定する地震動の評価方法への反映方法の参考として、
1:48:31	震源を特定する方の内陸地殻内地震、
1:48:35	49ページのプレート間地震、50ページ。
1:48:39	断層モデルを用いた手法による地震動評価での、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:44	増幅の考慮の方法を顕著な増幅を考慮する方法を記載いただいているんですけども、
1:48:50	ちょっとこれ調べないとわからなかったんですが、
1:48:55	応答スペクトルによる地震動評価における増幅特性の考慮方法。
1:49:01	についてもうちちょっとここは参考にしなると思っていますので、参考とかどういう方法を使ってるかってのは気になりますので、
1:49:09	これについても、参考として追加していただきたいというのが1点。
1:49:15	あともう1点は、
1:49:18	今回、私自身の感覚としては、個人的な感覚としては、
1:49:25	このサイトっていうのは震源を特定して策定する地震動のほうが支配的なサイト条件んというふうな認識ではあるんですが、今回標準応答スペクトルに関しては、
1:49:38	ある程度そのスペクトルレベルが高いということ振幅値が高いということと、
1:49:44	あの足跡毒性が高いということで、今回影響する可能性が出てきているというふうに認識してるんですが、その場合に今回の審議内容とは、
1:49:55	直接的には関係しないんですが、すでにある程度審議が進んでいる震源を特定して策定する地震動
1:50:05	こちらの方で、事業者が考えている基準地震動、
1:50:11	S s - Dでしたっけね。
1:50:13	応答スペクトルによる設定で考慮している基準地震動を、
1:50:20	まだ審議の段階には入っていないんですがそれとの関係で、
1:50:25	まず増幅性を考慮していない領域で、
1:50:29	標準応答スペクトルによる解放基盤表面の地震動、留萌は抜き地震動とどういう関係にあるのかということと、あと、5号炉の増幅特性を考慮した場合の、
1:50:43	S s - Dとかそういったものとどういう関係にあるのか。
1:50:48	というところを、ちょっと示していただきたいんですけどこれって可能ですかね。今3点ちょっとお願いしたんですが、
1:51:02	中部電力の岩瀬です。まず茂木派の音スペクトル比のところは最低値がわかるように言って先行サイトと同様の
1:51:12	記載をするようにという点は承知しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:16	次に、特定する方の断層モデル法の方が記載させていただいてるんですが、応答スペクトルの方が、この資料では直接読み取れないので、それが読み取れるように参考で追記して、
1:51:31	するようにということはこの点についても、承知しまして対応いたします。
1:51:35	で、最後基準地震動の、との比較と、
1:51:40	いう形で、シンプルに申請時に S s
1:51:48	デザインDの方は当然出しておりますので、そういった形との比較ということで、比較図をつけることで対応していただいさしていただけだと思います。以上です。
1:52:05	形状のナグラです。
1:52:06	あくまでもまだ基準地震動の策定には進んではないので、参考という形ですけれども、34号炉の
1:52:15	増幅特性を考慮しないでもいい領域と、あと5号炉の市、
1:52:20	増幅特性を考慮すべき領域、これについて、特定せずとの関係がわかるようにということの参考資料をちょっとお願いしたいという趣旨でした。よろしくお願いします。以上です。
1:52:36	中部電力のイワセです承知しました参考資料として用意いたします。
1:52:48	タニですけど、ちょっと話変わるんですけど、62ページの、さっき佐口さんの方から
1:52:54	観測記録の話あったと思うんですけど、ちょっと先行サイトとかで、言ってるのが、
1:53:01	特異なが獲られた観測記録の中に特異なものはなかったのかあったのかとかそういうのも整理してくださいよとか言っている。
1:53:10	コメントをしていたりしますんでその辺がちょっと今書いてないのかなって思ってるのと、
1:53:16	あとは根井、この観測記録、
1:53:21	最後採用したものは、観測記録出てるんだけど、しなかったものも、
1:53:27	今、何か出てるんですけど、観測記録自体が、資料上、
1:53:39	中部電力の石川です。
1:53:41	現状はですね採用したもののだけが63ページのほうに加速度を載せましてそれ以外については現在の載せていないという状況にはなっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:52	それで必要とあれば、比較をしたものを追加したいと思います。
1:53:59	はい。必要かどうかちょっと考えていただいて、
1:54:02	必要だと思ったら、
1:54:05	追加してください。
1:54:07	あと大分話戻るんですけども、なんか 131 ページで、
1:54:12	これもなんか誰かがこれ次いで対になって企画してるんですかっていう話あったと思うんですけども、
1:54:19	この 131 ページもこっち、ぱっと見て気がついたただけなんですけどね、岩手宮城内陸地震って、
1:54:28	違う浜岡の方から、活断層の分布の中に浜岡の方は、トラフ軸に T 層褶曲及び断層が多数分布しているって書いてるのに、
1:54:38	なんで岩手宮城は褶曲がどうのとかいう話がないのかこれ多分岩手宮城って、
1:54:45	何か褶曲あるんじゃないのかなって思うんですけども。
1:54:49	そういうふうに関が、
1:54:52	ちゃんと書くことはこういうことを書くんだよって決めないと、何かいいとこだけ書いてるような感じに、こうってしまうので、その辺気をつけて、
1:55:02	必要な情報を入れていただいたらと思うんですけどいいですかね。
1:55:08	はい。中部電力今井です。ご指摘の件承知いたしました岩手宮城も褶曲第三期の褶曲知られておまして、
1:55:15	そういった褶曲とか河成段丘の知見を踏まえて、示唆されるといったような知見も出ておりますので、記載の方ですね、終局というキーワードを入れさせていただくとか、
1:55:27	他のところもですね、ちょっと整合が、
1:55:29	とってないかどうかをもう 1 回チェックさせていただきます。以上です。
1:55:35	はい、お願いします。
1:55:45	はい。先ほども、表はあくまでフラットに情報を求めているだけだということなんで、
1:55:51	2 多様な情報は部屋にまとめていただきたいと。
1:55:55	ということですねはい。
1:55:57	あと他特になければ時間も時間ですし、すいません午後またヒアリングもまたありますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:04	他なさそうであれば田島さん大丈夫そうですかほか、
1:56:08	全体の方とかも今行きましたけど、
1:56:12	はい、規制庁タジマです特に大丈夫です。
1:56:17	はい。ありがとうございます。そしたらヒアリングとしては2回目ということで、ちょっと何点かこちらから確認した結果少し資料の修正をするかどうかを含めて、
1:56:29	ご検討いただくという部分と、資料の充実する部分ということで申し上げましたので、
1:56:35	そちらの資料の方ですね。
1:56:37	直していただいて再度提出そのあと、どっかで会合ということで、流れとしては考えております。
1:56:46	特になければ時間も時間なのでそろそろ終了したいと思いますけども、中部電力の方から何か確認ありますでしょうか。
1:56:56	中部電力浜野でございます。特にございません。
1:57:02	はい。であれば、以上で、ヒアリングの方を終了しますお疲れ様でした。
1:57:08	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。